

名古屋市教育委員会臨時会

令和 5 年 7 月 28 日

午後 3 時 00 分

名古屋市役所大会議室

議 事

日程 1 令和 6 年度使用教科用図書の採択及び採択審議について

出席者

坪 田 知 広 教育長

西 淵 茂 男 委 員

鎌 田 敏 行 委 員

中 谷 素 之 委 員

栗 生 万 琴 委 員

山 本 久 美 委 員

教育次長始め、事務局員 20 名 ※傍聴者 48 名

(坪田教育長)

それでは、ただ今から教育委員会臨時会を開催いたします。

本日は多数の傍聴申し込みが見込まれたため、傍聴人の定員を教育委員会傍聴規則に定める 10 人から 50 人に拡大して受け入れておりますのでご理解のほどお願いいたします。

次に、傍聴の方も含め、ここにおられる皆さんにお願いですが、日程第 1 「令和 6 年度使用教科用図書の採択及び採択審議について」に関しましては、県の指導により、採択結果は 8 月 31 日まで非公開となっております。また、採択などに関わる会議録、資料等につきましても、同様の取り扱いとなりますので、その旨ご理解の上、本日知り得た内容につきましては、ご配慮いただきますよう、お願いいたします。

また、この会議開催前に、本日ご参加の教育委員の皆様に対しまして、教科用図書の採択に直接の利害関係がないことを確認しました。

ではこれより、日程第 1 「令和 6 年度使用教科用図書の採択及び採択審議について」を議題といたします。

本日は、令和 6 年度に使用する小学校用教科用図書のうち算数・理科・生活・音楽・図工・保健の採択審議を行います。

では、まず算数のご説明をお願いいたします。

(廣瀬指導主事)

算数科の教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の6者から発行されています。資料3-1のファイル、資料3-2のファイルのそれぞれ、算数のページをお開きください。各学校の集計結果は、ご覧のようになっております。私からは、調査専門委員会の調査研究の結果について、教科用図書をお示ししながら説明させていただきます。

まず、調査研究の6つの観点についてです。

観点1「「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実」についてです。大日本図書は、5年27～31ページ「じっくり深く学びあおう」を設定することで、自分で学びを進めたり、友達と一緒に問題解決に取り組んだりすることが確実にできるよう工夫されています。啓林館は、4年上70ページの変葉マークの「学びのめばえ」や83ページ「やってみよう」が、学習の目的や課題に目を向けたり、活用・探究に取り組んだりできるように設定されています。日本文教出版は、3年上139ページからの「算数マイトライ」で難易度別の問題を設定することで、自分に適した問題を選択できるよう工夫されています。

観点2「学習指導要領との関連」です。東京書籍は、4年下36・37ページで、既習事項と当該の学習をつないだ数学的活動により、知識・技能が確実に習熟・定着するよう編集されています。啓林館は、5年88・89ページのように、全ての時間で「めあて」とそれに対応した「まとめ」が例示され、自ら問いや見通しを立て、主体的・協働的により良い解決に向かうことができるよう編集されています。

観点3(1)「内容の選択」についてです。学校図書は、5年下20ページで、自ら問題を発見し、創造性を十分に培いながら取り組むことができるようにされています。教育出版は、5年292ページで、身近な経験と算数をつなぎ、学んだことを十分に実感し活用することができるようにされています。

観点3(2)「内容の程度」です。東京書籍は、4年下114・115ページで、絵・図・式を関連付けるなど、問題を理解した上で学習が進められるようになっています。啓林館は、1年別冊の20・21ページで、身の周りの写真を見開きで大きく取り上げることで、興味や関心をもって新しい学習が進められるようになっています。

観点3(3)「内容の構成」です。学校図書は、6年別冊「中学校へのかけ橋」では、過去の学習を振り返ったり、今後の学習の見通しを十分にもったりして、学習できるように構成されています。啓林館は、1年別冊で、1年生の教科書を分冊「すたあとぶつく」にし、就学前の経験とのつながりに配慮してあります。

観点4「学習の仕方への支援」についてです。啓林館は、4年上80ページで、具体物の操作を通して問題解決に取り組む場面では、二次元コードを読み取ると、模様を動かせることができ、創造的な活動も効率的に行うことができるようになっています。日本文教出版は、二次元コードで十分な量の補充問題が用意されています。4年上40ページで児童の

算数に対する興味・関心を引き出す「なるほど！算数」が示されています。

観点5「指導上の便宜」です。東京書籍は、4年下22・23ページで、問題解決の過程が一目で分かりやすく伝わるように、効果的にイラストや写真が使われています。啓林館は、3年上147ページにある、天秤の付録は、学級全員で同じものを使用することで、指導をスムーズに行えるようにされています。

観点6「印刷・造本等」です。大日本図書は、4年165ページで、単元や課題の背景に「色網」を施したり、重要語句は「太字で字体を変え」たりするなど、視覚的に分かりやすく適切に配慮されています。教育出版は、3年下21ページで、単元の導入に写真やイラストを多く取り入れ、問題場面や問題の意味を直観的に想起しやすいよう適切に配慮されています。

次に、特に調査を要する事項についての報告をさせていただきます。調査専門委員会報告書の算数の3枚目の内容について、教科用図書をお示ししながら説明させていただきます。

事項1「日常の事象との関連」です。学校図書は、3年上88ページで、日常生活や算数を学習する中で疑問に思うことが豊富に用意され、4コマ漫画で表すことで、日常の事象と関連を図ることができています。教育出版は、3年下33ページで、単元末に4コマ漫画で、学んだことを活かして解決できる日常生活に関わる問題を設定することで、日常の事象と関連を図ることができています。啓林館は、2年上102ページで、日常の事象における課題をとりあげ、問題解決を通して数理的に処理する技能を身に付けられるようになっています。また、日常の事象や既習内容をベースに主問題が設定されています。

事項2「具体物や図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えたり、表現したりする活動の充実」についてです。大日本図書は、3年24ページの考え方に焦点をあてた「発見！考え方」や、11ページの図などを用いて児童の思考を補助する「ひらめきアイテム」を設定することで、数学的な見方・考え方を育むための工夫が講じられています。学校図書は、2年上32ページで、具体物や図、言葉などを使って、多様な解決方法を示し、対応する部分が比較しやすいように配列することで、数学的に思考したり、表現したりする力が身に付くように編集されています。教育出版は、2年上20ページで、具体物や図、言葉などを使って、複数の解決方法の一部を示したり、話し合いの様子を吹き出しで示したりすることで、数学的に思考したり、表現したりする力が身に付くように編集されています。

事項3「知識・技能を確実に身に着ける内容の充実」についてです。大日本図書は、5年195ページで、既習事項を振り返ることができるように、右上のうさぎの吹き出しが用いられており、知識・技能を確実に身に付ける内容が充実しています。学校図書は、5年下69ページで、よく間違える問題とその間違い方、注意点について掲載することで、気を付けるべきポイントについて効果的に振り返ることができます。教育出版は、4年上26ページで、数直線や単位の表し方が、方眼の上に記載されており、児童が自分のノートに図を

かくときに参考にしやすいようにされています。啓林館は、3年下4～6ページで、コンパスの使い方や作図の仕方などは、手順を細かく分割した連続写真を提示したり、動画を視聴できたりと、内容が充実しています。

事項4「ICTを効果的に活用」についてです。啓林館では、4年上83ページ「やってみよう」で、実体験のよさも大切にしつつ算数の学びがより深まるようなコンテンツが用意されており、個別最適な授業展開に合った配置となっています。日本文教出版では、4年上21ページで、二次元コードを読み取り、採点機能がついた練習問題に取り組むことができますようにすることで、個々の学習の定着度を確認することができるようになっております。

なお、算数科の教科書に対しまして、「市民の声」として、17通のご意見をいただきましたことをお伝えさせていただきます。以上です。

(坪田教育長)

説明が終わりましたので、算数の採択に関する審議に入ります。ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(西淵委員)

それでは一つだけ、まず先に質問をさせていただきます。今学校では啓林館の教科書を使っていると思うんですけれども、今回の教科書と現行の教科書で変わったところを具体的に教えてください。

(廣瀬指導主事)

二次元コードを活用して、様々、発展的な問題をとらえたりとか動画を活用したりとか、そういうふうなことを、聞いております。

(西淵委員)

ありがとうございました。そういうところが変わったということね。私もですね、色々比較してみましたけれども、今回はですね、どの教科書も大きく変わっておりません。一部変わったところ、今おっしゃったようにありますけれども、いわゆる言葉悪いですけどマイナーチェンジだと思っております。これはですね当然でして、学習指導要領が変わっていないわけですね。その中間地点だもんですから、いわゆる教科書の中間評価というふうに私はとらえています。そういうふうに考えると、現場が使っていて不都合を感じていない。またはですね、調査員の調査で問題がなければですね、原則学校の調査研究でより多く支持されているものをですね、採択すべきではないかと私は考えています。

その点からですね私は啓林館で問題ないと思いますし、本市で取り組もうとしてる自由

進度学習ですね、こういうものについてですね、先ほどお話もあったように、デジタルコンテンツ・動画、そういうものが非常に充実されてきているという点でも、啓林館は特に特筆すべきだというふうに思っております。以上です。

(坪田教育長)

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

リモートの両委員についてもご発言がありましたら、挙手のマークをしていただくか手を挙げていただくようお願いいたします。

(鎌田委員)

私はですね、第一優先として東京書籍、第二として学校図書を推薦したいというふうに思っています。

特に小学校の時に、何が一番大事かって言いますと、振り返ることを、なんと言うんでしょう、くせにするといいですかね、そういう学び方、何を知るかっていうことじゃなくて、教えてもらったことをいかに振り返るかということが重要だろうというふうに思っています。

算数は、好きになったり嫌いになったりする振れ幅が大きい教科だというふうに思いますので、振り返ってですね、学びをしっかりと次につなげていくということができれば、多分好きになってくれるということになるのではないかと。

これはですね、これ合計6者、皆さんですね振り返りについても書いてあります。あるいは確かめようとかですね、多分そうした中で特に東京書籍の「覚えてるかな」。「答え何ページですよ。確かめよう」、それからまた、「おもしろ問題」。このおもしろ問題というのは非常によく工夫されてるなというふうに思いました。

それから学校図書の方は、6年生になりますと中学校への架け橋ということになるんですけども、そういったこともありましてですね、そういった意味でも非常によくできているのではないかと。

最近では、いろんな表現を英語で行うと言いますか、英語も小学校の時から習うんだと思うんですけど、いろんな言葉が英語で表記をしてあるというようなことで。そこまで必要かどうかというところあれなんですけれども、進んだお子さんたちは、そういったものに興味をもってくれる。ただ、皆さんですね、すべて文科省の検定を通っているわけですし皆さん素晴らしいと思うんですが、その中でも特に私としては、東京書籍が良いというふうに思います。以上です。

(坪田教育長)

ありがとうございます。特徴も示していただきました。

中谷委員いかがでしょうか。

(中谷委員)

各者様の教科書の方を拝見しました。いずれも現行のものにやはりマイナーチェンジという部分かもしれませんがカラーであるとかあるいは解法過程であるとか、子どもの思考に沿ったことを意識されたり、鎌田委員言われたような振り返りの部分であったり、そういうところを強化されているのではないかというふうに思いました。

各者で特徴は先ほど挙げていただいた通りで、それぞれの本当に質の高いものがあるというふうには思うんですけれども、私なりの観点で申しますと、今、このわくわく算数というこの啓林館さんが使われてるものがバランスが良く、使いやすく適しているのではないかというふうに考えました。

現行使われてるからという理由ではないんですけれども、評価専門委員会及び校長調査の方でも、他の会社さんの倍、あるいは、校長調査でいくと10倍ぐらいの差がありまして、内容的にもそれを示すようなものであろうかというふうに私なりには考えまして、これまでの算数・数学教育に関する専門性ということも蓄積はされていると思うんですけれども、質の高いもの、バランスがよいものではないかというふうに考えまして、そのような意見というふうに考えております。

(坪田教育長)

ありがとうございました。

ということで、3委員からご意見が出たところでございます。

(栗生委員)

先生たちが選ばれた票数と、あと専門員の方々のコメントの中から拝見して啓林館さんと日本文教さんなのかなということで見させていただきました。今鎌田委員推奨の東京書籍さんも見させていただきました。結論から申し上げますと啓林館さんでお願いしたいなと思います。理由はですね、ちょっと前回もお話したように、QRコードの読み込みをさせていただくと啓林館さんが非常にですね、学習されるお子さまが自学自習しやすいのかなと、タッチパネルで触りながらですね、図形を理解するというような動的なコンテンツもご用意されていて非常にいいなということでおススメしたいなと思います。以上です。

(坪田教育長)

ありがとうございました。

ということで次、山本委員、もしお考えがおまとまりでしたらお願いいたします。

(山本委員)

やはり、現場の先生方がこれだけ支持があるということを考えると、指導しやすい教科書なんではないかなというふうに思います。でもどの教科書もとても、わかりやすく、子どもたちの気持ちを学習の方に向けるための工夫がいっぱいされているなど感じております。以上です。

(坪田教育長)

啓林館がいいということですかね。

(山本委員)

はい。

(坪田教育長)

わかりました。ということで、各委員のいろいろ表明も具体的に出版社名を今回は出しているから明瞭なところがございます。お聞きした限り、啓林館のご意見、啓林館と複数挙げていただいたところもありますけど啓林館が複数の方から言及があったかなあと思っております。あとは鎌田委員が東京書籍、学校図書ということで、特徴も示しながら、そのよさといいますかね、お示しがあったということで、こちらも考慮しなくてはならないというふうには思うんですけども、それを踏まえた上でもそのあの方からも、いずれもいいところがあるということの中で、啓林館というご意見があったということ、それも踏まえてちょっと西淵委員ご発言をお願いします。

(西淵委員)

鎌田委員が言われたみたいに振り返りっていうのは、これからの学習上、非常に大事だと思います。メタ認知、自分の学習してきた後を振りかえって、次どのように学習に向かうかということは、これからの学習の鍵だと思います。

そういうことからすると、鎌田委員がおっしゃった東書も確かに、振り返りコーナーということでよくできておりますけれども、皆さんが言ってみえる、私も見ましたけれども、啓林館の例えば確かめようというのを巻末に置いたり。そういう形で同じように振り返りということではなされていると思いますので、啓林館で鎌田委員いかがでしょうかということですけども。

(鎌田委員)

啓林館の確かめよう、振り返ろう、これもいいと思います。また学びをつなげようというのもありました。決して反対ではないんです。皆さんこれすべて及第点だと思うんです。

その中で優劣をつけるとすればということで私は申し上げたわけなんですけれども、ただ、皆様のご意見があれですから、多数決で、私の1票だけこっちにしといてくださいというほど強い反対で申し上げてるわけではないということで、皆様のご意見に賛同します。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

ということで、少し方向性が出たかなと思っております。いずれにしても教科書、QRコードをね、その先を見える化してると一つずつ見られた、各委員見られたと思いますけど、その先の使いやすさは実は参照することはできないということがあるんで、これからの採択のあり方として、QRコード先みたいなやつをね、ちょっとビジュアル化してちゃんと比較できないとちょっと、分からないのかなってことと、多分自学自習とかも結構意識されて作られてるのかなって全般の感じですし、今の鎌田委員や西淵委員からの振り返り、一直線じゃなくてやっぱり戻っていかないと次に行けないっていうスパイラルしていかないといけない部分が算数の場合どうしてもありますし、一つつまずくとなかなか難しくて中学校以降も響いてくるというところがあるので、ぜひ戻りつつまた前へ進めるみたいなですね、そういう工夫が各者とられてるというふうに、皆さんの意見を聞いていても感じました。そういう意味で、すべて素晴らしいところあるという中でも、現場の意見、各委員の意見も踏まえると啓林館でいかがかなというふうに思っております。そういう方向性でよろしいでしょうか。鎌田委員よろしいでしょうか。

(鎌田委員)

はい。

(坪田教育長)

それでは、令和6年度使用小学校用教科用図書算数については、啓林館の教科書を採択してよろしいでしょう。

(各委員)

異議なし。

(坪田教育長)

ありがとうございます。ご異議なしと認めそのように取り扱わせていただきます。
続いて理科についてお願いいたします。

(中村指導主事)

理科の教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信州教育出版社、啓林館の6者から発行されています。

資料3-1のファイル、資料3-2のファイルのそれぞれ、理科のページをお開きください。各学校の集計結果は、ご覧のようになっております。私からは、調査専門委員会の調査研究の結果について、教科用図書をお示ししながら説明させていただきます。

まず、調査研究の6つの観点についてです。

観点1「「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実」においては、6者とも主体的に学びながら、基礎・基本が定着するよう配慮されています。東京書籍は、3年44ページのように、児童の対話的な学びの参考になるように、各学年で主に育成を目指す問題解決の力に合わせて、児童の発言例をイラストで分かりやすく掲載しています。大日本図書は、3年127・128ページのように「ココに注目」や導入場面の対話の豊富さから、個別最適な学びと協働的な学びについてバランスがよい構成になっています。

観点2「学習指導要領との関連」においては、6者とも問題解決の過程に沿って活動が繰り広げられるよう配慮されています。大日本図書は、6年2・3ページのように質の高い問題解決を進めていくことができるよう3つの過程ごとの学び方が示され、学年で育成したい資質・能力にも触れ、科学的に問題解決できる構成になっています。教育出版は、5年138・139ページのように、問題解決のための見方・考え方につながる言葉に注目できるように「見方のカギ」「考え方のカギ」を示し、学びが深まるように工夫されています。

観点3 (1)「内容の選択」においては、6者とも身近なものとの関連や季節の移り変わりを考慮して、無理なく学習ができるように配慮されています。大日本図書は、4年50、51ページのように、単元末の「確かめよう」での基礎の確認と「学んだことを生かそう」での説明で学びのより深い定着を図っています。学校図書は、4年27～37ページのように、単元の最初に、「できるようにになりたい」として身に付けたい力を観点として示し、単元末の37ページにそれらの学びを振り返る場面を設定し、見方・考え方を働かせることができる内容が選択されています。

観点3 (2)「内容の程度」においては、6者とも各学年の問題解決の力を育成することに重点をおいた構成となっています。大日本図書は、5年120・121ページにあるように、環境や伝統的な技術などに関わる内容と理科での学びを結び付ける内容が多く、より深い理解へとつながる構成になっています。啓林館は、6年123ページのように、単元の最後にある「くらしとリンク」によって、単元の内容をより深く理解できる設定になっています。

観点3 (3)「内容の構成」においては、6者とも学習内容のつながりを考慮し、補充的な学習や発展的な学習が、各学校で扱いやすくなるように配慮されています。啓林館は、4年180・181ページのように、いくつかの単元の内容を「つなげよう」でまとめることで、既習事項のつながりを意識できる構成になっています。

観点4「学習の仕方への支援」においては、6者とも本文記述や観察・実験の内容に適した写真やイラストが採用されており、児童が学習内容を理解しやすくなるように工夫されています。信州教育出版社は、6年122ページの実験1にあるように、写真やイラストを効果的に使用し、児童が実際の場面や実物を実感しやすくなっています。啓林館は、6年68ページのように、単元の最初に、内容に関わる写真を大きく、印象的なものを選んで掲載しています。また、205ページからの「オッターの資料室」は観察、実験場面で利用しやすくなっています。

観点5「指導上の便宜」においては、6者とも文字のフォントや囲み線などによって安全面に配慮するとともに、写真やイラストでわかりやすい表現になるように工夫されています。大日本図書は、3年8ページのように、観察、実験の安全面によく配慮されており、マーク、囲み枠、色文字で強調しています。また、タブレット端末の活用場面が分かりやすく例示されています。

観点6「印刷・造本等」においては、6者ともユニバーサルデザイン書体を採用したり、写真やイラストを鮮明にしたりしており、どの児童にとっても理解しやすいものになるように工夫されています。東京書籍は、丈夫でかつ軽量の紙を使用し、児童の登下校時の負担軽減に努めています。A4版のため、大きな文字で表されており、読みやすくなっています。教育出版は、光沢のある用紙が使われており、写真やイラストは鮮明で見やすくなっています。啓林館は、軽量で発色のよい紙を使用しており、写真やイラストは鮮明で見やすくなっています。

次に、特に調査を要する事項についての報告をさせていただきます。調査専門委員会報告書の理科の3枚目の内容について、教科用図書をお示ししながら説明させていただきます。

事項1「一連の観察、実験における言語活動が充実するように工夫されているか」では、6者とも「見通しをもつ場面」での会話が示されるなど、考えを伝え合う活動が深まるよう工夫されています。信州教育出版社では、4年37ページのように、単元の導入では体験活動を基に気付いたことや調べたいことを話し合う活動が設定され、児童が疑問をもてるよう工夫されています。啓林館は、4年125ページのように、単元の最後に学習を振り返り、自分の考えをまとめる場面が設定されています。

事項2「コンピュータや情報通信ネットワークの活用が図られているか」では、6者とも2次元コードを掲載するなど、デジタルコンテンツを利用しやすくなるよう工夫されています。大日本図書は、6年185～189ページのように、電気の学習ではセンサーを活用したプログラミングを体験できる活動が設定されています。デジタルコンテンツが豊富にあり、多くのページの下の方に2次元コードが掲載されています。

事項3「具体的な体験を伴う学習活動が適切に取り入れられているか」では、6者とも児童の興味関心が高まるような観察実験が取り入れられています。東京書籍は、3年82・

83ページのように、「レッツトライ！」として全ての単元の導入に問題をつかむための体験活動を設定し、児童の興味・関心を高め、疑問を引き出すことができるように工夫されています。大日本図書は、5年124・125ページのように、体験活動を基に問題を設定したり、2次元コードからアクセスできる動画を手掛かりに、実験器具を手作りして観察、実験を行うようにしたりして、児童の興味・関心が高まるような方法が提示されています。

事項4「学習内容と、日常生活や自然災害との関連が図られているか」では、6者とも学習内容が日常生活でどう生かされているかを写真や具体的な器具などを紹介して関連付けています。また、自然災害についても、写真や資料等を紹介し、防災に関する意識が高まるよう構成されています。

学校図書は、6年146ページ～151ページのように、学んだことが日常生活につながるよう、学習内容に関連した資料が効果的に掲載されています。また、防災の取り組みや暮らしへの利用を分かりやすく取り上げています。

なお、理科の教科用図書につきましては、「市民の声」としてご意見を25通いただきました。

(坪田教育長)

説明が終わりましたので、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(坪田教育長)

西淵委員いかがですか。

(西淵委員)

理由は先ほどと同じなんですけれども、圧倒的に学校で調査研究して、大日本がいいのではないかということなんですけれども、理科はですねやっぱりレスイズモアというか少なく学んで科学的な概念に導くということが非常に大事だと私は思っておりますし、学びのコンパスで、本市で指導していただいている。奈須先生なんかもですね、そのようなことをおっしゃっているということで、学んだことがありますけれども、少ない内容で能力育成を図るということだと思えるんですけども、比較だとか、あるいは関連付けだとかあるいは実験における条件制御などの科学的な概念ですね、生活に結びつける。今の説明だとどの者もみんなそうなんですけれども、特に内容の程度のところで特筆すべきと書いてある大日本の環境、伝統など日常的な内容と理科での学びを結びつけている内容が多くなっているなと私も思いましたので、学んだことを生かすという視点も含めて大日本がいいんじゃないかなとふうに見させていたいただきました。もちろん他の者も優れているとは思いますが、以上です。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

鎌田委員いかがでしょう。

(鎌田委員)

私は教育出版がいいと思います。これもすべて及第点だと思うんですけども、特に教育出版がいいのが、各学年で学んだことの振り返り、これが非常によくできているのではないかと思います。他の例えば音楽とか保健とか図画工作とかこういうところは振り返りというよりはですね、他のことが大事だと思うんですけども、算数とか理科とかこういったものはやはり振り返りが重要だろうというふうに思いますので、その振り返りが充実しているといいますか、非常に良いと判断できるこの教育出版のものがいいというふうに私は思います。

(坪田教育長)

ご意見ありがとうございます。

続きまして、順番が決まっているわけじゃないですが、中谷委員いかがですか。

(中谷委員)

内容の方、各者ですねこの6者の特徴を拝見していて、造本そのものも違いますし、イラストや図解がやっぱり理科っていうことで、可視的で、日常生活の繋がりがひと目で分かるような工夫が各者されていて、見やすいものだなというふうには思いました。その中でですね、比較的いいものいくつかあるかなというふうには思ひまして、例えば東京書籍さんのいろんな工夫のところっていうのは、その日常生活の関連なども挙げていただいているところです。そして、大日本さんのたのしい理科の方では、造本もそうですしやっぱりQRコードの内容であるとか、学習の中の構造が見えやすくもされているっていう、いくつかの良いところが出ているなというふうに思いました。

市民の皆さんのお声も見ながらですね、いろんなお声があるところというふうに理解しているわけですけども、それはそれとして内容について公平に見たときに、この中で大日本さんの内容は教えやすく、必要な要素が揃っており、子どもの学習思考に沿ったものになってるのではないかと。現行の指導要領あるいは次期指導要領を見据えて、そのSTEM教育というような言葉もありますけれども、自学自習したり、総合的な学び、探究的な学びに広げていくという意味でも、なかなか工夫されているのではないかとというふうに思ひまして6者それぞれ、良いところはあるんですけども、質はそれなりに高いものではないかというふうに思いました。以上です。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

続きまして、栗生委員お願いします。

(栗生委員)

ちょっと悩ましいところかなと思ひまして、理科の場合はやはり探究につながるような観察して問題を発見してそれを実験してみても発表するっていう一連の学習の流れがあると思うんですけども、そんな中、欠席した生徒さんとか、あとから振り返られるっていう観点、実際にその実験の場には立ち会わなかったとしても、後から動画などでですね、その様子をまた見ることができるという意味で、動画のコンテンツが充実しているのは大日本さんとあと啓林館さんかなというふうに私の方ではお見受けしました。実際に教員の皆様が選ばれているって意味では大日本さんですので、ちょっとここは悩ましいところかなということで拝見していました。すみません。ちょっと結論出ていなくて。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

山本委員いかがでしょうか。

(山本委員)

私も啓林館さんの、暮らしとリンクしていくとか、つなげようっていうところで、お勉強したことがただの知識に終わらないという意味では、すごく興味を持って、お勉強以外のところへつながっていくという意味では、すごくいいなっていうふうに思いました。

でも大日本さんのところでも学んだことを生かそうとか、確かめようというようなところがたくさんあって、どちらもいいなっていうふうに思いました。以上です。

(坪田教育長)

啓林館、教育出版、大日本ですかね。出てきたのは。東京書籍もお触れがあったような気がしましたが、いかがでしょうか。

(中谷委員)

いいですか。

(坪田教育長)

他の意見も感想としてお願いします。

(中谷委員)

版型でいうと東京書籍と大日本が少し大きめで、それで内容も悪くないっていうことでちょっと出させていただいたんですが、選ばざるを得ないというか1冊にするという作業ですので、だとすると大日本さんの内容は質がそれなりに高いという意見です。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

では啓林館、大日本を並べてご発言された方もいらっしゃいますし、鎌田さん、他の方の意見を聞いた上で、ちょっと教育出版を明確に、どれも及第点だけれども教育出版が少し振り返りの部分が他よりもよろしいのではないかという意見でしたけれども。どうですか、他の方の意見を聞いた上でいかがでしょうか。改めて。

(鎌田委員)

私は1番が教育出版で2番が東京書籍。これは学ぶことが冒頭に書いてありましてね、学ぶことってというのは元々目次を見ればわかるようなものなんです、それをまた分かりやすく書いているっていう意味で東京書籍がいいなって思ったんですが、でも皆さんの意見がやはり大日本ということで、これもすべて及第点の教科書でありますので何が何でも反対、これを多数決で決めるべきだというふうに主張するほどのことはないと思っています。その意味で、私も大日本に賛成したいと思います。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

ではいろんなご意見をいただきましたので、皆さんのご意見を聞きたいと思います。

令和6年度使用小学校教科用図書理科については、大日本図書を採択してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(坪田教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

続いて、生活についてお願いいたします。

(安田指導主事)

生活科の教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信州教育出版社、光

村図書、啓林館の7者から発行されています。資料3-1、資料3-2のファイルのそれぞれ生活科のページをお開きください。各学校の集計結果はご覧のようになっております。私からは、調査専門委員会の調査研究の結果について、教科用図書をお示ししながら説明させていただきます。

観点1「「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実」においては、7者とも一人一人の学びが尊重されるよう工夫されています。大日本図書は、上96～99ページのように、「あきのテーマパーク」について伝え合う様子を、準備の場面と、当日の場面とで取り上げ、個人の学びを集団で共有できるように配慮されています。学校図書は、下41ページのイラストの児童の吹き出しのように、自分の願いについて、理由を伝えながら決めており、自己決定の場面を大切にしています。

観点2「学習指導要領との関連」においては、7者とも学習指導要領の趣旨を踏まえた編集になっています。東京書籍は、上18～21ページの児童の姿や吹き出し、表現作品などのように、「きまりやマナーについて考えながら活動すること」や「学校での生活は様々な人と関わっていることに気付くこと」など、身に付けさせたい資質・能力が具体化されています。教育出版は、下97～103ページのように、自分の成長を自覚するメタ認知を育む構成で、主体的・対話的で深い学びへ導くよう工夫しています。光村図書は、上33ページのように、振り返りの場を設け、児童自身がどんな経験をしたか、情意の面と資質・能力の面から振り返る構成になっています。

観点3(1)「内容の選択」においては、7者とも教科の目標や地域の実態に応じた内容が含まれています。大日本図書は、上82・83ページのように、モノクロ写真を提示して、色を想像させたり、上86・87ページのように、ビンゴゲームカードを提示して、諸感覚を活用した視点を与えたりして、多様な活動につなげています。信州教育出版社は、下88・89ページのように、地域の豊かな自然環境や日常的な事象を取り上げ、具体的な活動を通して培われる体験を大切にしています。

観点3(2)「内容の程度」においては、7者とも児童の主体的な活動を促すような話題や題材を取り上げています。東京書籍は、上38・39ページのように、児童がやってみたいと思うような、ダイナミックな写真を掲載して、児童の思いや願いを喚起しています。大日本図書は、上50・51ページのように、児童の目線に立った生き生きとした活動の写真や、二次元コードから読み込む水遊びの動画で、興味関心を刺激し、思いや願いを引き出しています。光村図書は、上49ページのように、子どもが親しみやすいイラストと言葉で、自分らしい学びを進めていけるよう工夫しています。啓林館は、上45ページのように、紙面右下に「くふうすると たのしく なるね。」のような「めくり言葉」を示し、児童の気付き、思いや願いが次の活動につながるようにしています。

観点5「指導上の便宜」においては、7者ともタブレット端末を活用することで学習効果が上がるよう工夫しています。大日本図書は、二次元コードからアクセスすると、下

22・23ページのように、土作りの様子を紹介する動画等を見ることができ、一人一人の興味関心を刺激したり、多様な他者との協働を促したりしています。教育出版は、上128・129ページのように、ルールやマナーが統一して掲載されています。啓林館は、下ページ14のように、二次元コードからアクセスして見ることができるクイズや、下18ページのように、タブレット端末を利用した活動が紹介されています。

次に、特に調査を要する事項についての報告をさせていただきます。

事項1「地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うように工夫されているか」においては、7者とも地域の自然を生かしたり、地域の人々との関わりを意識したりした内容となっています。東京書籍は、下26・27ページのように、地域の人々に自ら働き掛ける児童の姿が、具体的に示されています。大日本図書は、下63ページの科学館や地下鉄、下72・73ページのテレビ塔のように名古屋の写真が、信州教育出版は、下27ページのジャンプ台のように、長野の写真が随所に取り上げられ、日常生活と地域との関わりが描かれています。

事項2「見付ける、比べる、たとえるなどの多様な学習活動となるように工夫されているか」においては、7者とも、分析的・創造的に考えることを意識した内容が取り入れられています。東京書籍は、下114・115ページのように、多様な学習活動が、児童の具体的な姿で例示されたり、気付きを質的に高めるための学習活動がまとめて掲載されたりしています。大日本図書は、上10・11ページのように、多様な学習活動を展開しながら授業が進み、児童の学びが深まり、次の活動へとつながるような流れが示されています。

事項4「生活上必要な習慣や技能の指導が行えるように工夫されているか」においては、7者とも、学習指導要領の理念を受けて、学ぶ力の向上につながる紙面構成がされています。学校図書は、下113ページから始まる巻末に「学び方図かん」があり、116ページからのように「見る」「話す」「聞く」「考える」「書く」などの学ぶ力を高めるための技能が示されています。教育出版は、巻末に「学びのポケット」があり、下109ページからのように、生活科で身に付けた知識や技能が他の学習ともつながるように工夫されています。光村図書は、別帳として「ひろがるせいかつじてん」があり、自然や社会など、生活科学習に関わる幅広い知識や技能が紹介されています。

なお、生活科の教科書に対しましては、「市民の声」として20通のご意見をいただきました。以上です。

(坪田教育長)

説明が終わりましたので、生活の採択に関する審議に入ります。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(西淵委員)

ここがですね、非常に迷っていろいろ調べたんですけども、学校現場の支持がですね、東京書籍、大日本それから教育出版と3者に分かれているように思われます。

普通使いやすい教科書、さっきも言ったように中間地点で使いやすいということになると、大差がつくかなあというふうに私は思うんですけども。ここはですね、分かれてるんですね。それぞれですね、特色的にいいところがあります。例えば、大日本で私がいいなと思ったのは観察のノートですね。そこに、目とか、手とか、そういうのを塗るマークが入れてあってですね。子どもたちが自分の五感を使って、学んだということが観察記録の中に残るような工夫がありますね。75ページに。見ていただければわかるんですが。

それから教育出版はですね、後ろに、先ほど出てきましたけれども、コンピューターですね、タブレットをここから、一年生でこれ、生活科行く時にですね、探検で持って行ったりですね、動画で撮ってきてそれを共有したり使うのに関して、どこにもですね、他の教科のどこにもそのコンピューターの最初の導入って、あんまりないんだなと。そういうことから考えると、この教育出版のその最後の128、129の方は、こういうのをなるほどなというふうにも思いましたし、どちらもいいなということではちょっと決めかねてはいます。だから大日本か教育出版がいいかなと私は思いましたが、また、栗生さんなんか専門なのでちょっとご意見とかいただけたらと思いますけど。以上です。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

続いて、今ふりがあったので、栗生さん。

(栗生委員)

西淵委員おっしゃるとおり、コンピューターの授業で、技術家庭科の中で出る前のこの低学年でしっかり、お子様たちに伝わるって内容が含まれているのは非常にいいなと思います。どの教科書もよく作り込まれているんですけども、教員の皆さんの評価とちょっと別なんですけれども個人的にですね、ヨシタケシンスケさんのイラストを使ってらっしゃる、この光村図書さんですかね、保育園・幼稚園の頃はですね、結構ヨシタケシンスケさんの絵本を読むっていうのが最近のお子さんの傾向になってまして、子どもの目線だけじゃなくて大人の目線からのコメントも書き込まれていて、自己と他者を理解するとか社会を理解するみたいところで非常に子どもたちが慣れ親しんだヨシタケさんのテイストを見ながらですね、学んでいけるっていうこの辺のなんかやわらかい表現も非常にいいなというふうに、他の教科書本当にすばらしく作り込まれてるんですけども、新しい観点、お子様の観点でいうとですね、あと今NHKの番組なんかでもこのヨシタケさんの科学や生活のコンテンツ非常に人気だったりするので、お子様目線で見たときにですね、この教科書の良さみたいなのが読み込んでいただくと結構、イラストは他の他者さんも描くか

れてますが、イラストなのはちょっとびっくり飛んだような、大人の目線だったり子どもの目線だったりっていうのが、非常にかわいく書かれているので、低学年の皆様への教科書としていいのではないかと保護者の方も身近な本当に子育て中はこの本必ず読むっていうくらいの人気の絵本ですので、そこはちょっと個人的にはデジタルの観点でいうとさっきの教出さんとかがいいと思うんですけども、お子様の目線、保護者様の目線でいったときの光村さんの教科書の良さみたいなところをお勧めしたいと思います。

(坪田教育長)

ありがとうございます。新しい視点でのご指摘だったと思います。保護者目線も含めてですね。

鎌田委員いかがでしょうか。

(鎌田委員)

私は1番が光村で、2番が学校図書ですね。両方ともですね、安全ということについて、非常に共通していると言いますか、まず最初に生活で一番大事なのは安全というところだと思いますので、それを、4ページ使って教えている。安全にそして元気にということ、あとは学校で元気よく勉強してくれたらいいというぐらいの気持ちでですね、これを重要視したいと思います。以上です。

(坪田教育長)

ありがとうございます。また、明確な、特徴でしたね。

中谷委員いかがでしょうか。

(中谷委員)

生活科は7者から審査が通ったものが出されていて、いろいろ迷うところなんですけれども、この学校調査と専門委員会調査を合わせて、それを一つの手がかりに見ていくと。票数が一番多いのが大日本さんで、それほどは差はないですけども2番が教育出版さんで、3番目が東京書籍さんということかなと、両方合わせて、どちらが上かって、2番手に教育出版あるいは東京書籍というところかというふうに思います。各者良くて中でもこちらの方はやっぱり、よく練り上げられているものだというふうに思います。何て言うんでしょう電子的なものによって、いろいろこう経験してないことを、デジタルで経験するっていうことも、生活科大事ですし、こういう、何て言うんでしょう気候の問題とかですね、あるいは生活で外になかなか行きにくい等もありますのでそういうデジタルの豊富さっていうのも大事だと思うので、先ほど栗生委員からもありました教育出版、そのあたりはよく準備されてるなという印象でした。大日本さんは本として見やすいなということと、

ただ造作としてはいろいろ共有できるものをどういうふうに使うかっていう、先生方の使いやすさによるのかなというところで内容は、質は高いのかなというふうに思いました。

あと、これも好みなんですけれども、一方で有名な方を出されたりとかあと、東京書籍さんでしたかね、有名な方の写真を使ったりしているところもあるんですけれども、ただ、教育出版さんと養老孟司さんが写真で出てきたり、38ページとかですね、してたりするんですけれども、光村さんの場合、本当にコンテンツとして絵でこうぐんと出てくるので、それはもちろん親しみやすさもあるんですけれども、ちょっとこう、その方のキャラクターとしてこの教科が理解されるっていうのをもうちょっとこう限定がされるかなという印象も持ちまして、そんな印象もありました。なので順番としては教育出版さん、大日本さんのあたりかなというところで考えた次第です。以上です。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

少しいろいろな意見が出て多様な感じになっているような気がしないでもないので、山本委員の意見が大事になってきますので、よろしくお願いします。

(山本委員)

もっと多様化してしまいそうですけど、私も光村さんのは見出しと振り返ろうのところが全部同じようになっているので、子ども的には勉強がしやすいかなっていうふうには思いました。それと東京書籍さんが1ページずつの切り方とかを変えているので、非常に興味を持って勉強ができるのではないかっていうふうに思いました。

また、種と葉っぱとお花、それからお花が咲いたところとつぼみのところっていうのが、いろんなつなげ方ができたりして、全部を出さないようにしながら、出て行くっていうのはすごく面白いし興味をもつし、逆に、覚えたいと思うかなっていうふうに感じてすごいいいなっていうふうに東京書籍さんですかね、思いました。

また、大日本図書においては、すごい斬新だなというかモノクロページっていうのが、人間、色が見える人たちはみんな当然のように思っているので、何となくこんな色かなっていうふうに映っていると思うんですけど、こうやってモノクロにされたときにすごくそこで考える、あれ、どうだったかなって考えるっていう意味ではお花もそうなんですけど、当然この色だって思ってるようだけど、知らないっていうことって結構あって、モノクロにすることで、もう一度考え直すというかもう一度、思い出すと。そういう意味ではすごく面白い、興味をもつ。課題の与え方なのかなっていうふうに思いました。

あとは、これも大日本さんなんですけどやはり小さい子なので、名古屋が出てるっていうことに関しては、興味をもつし、お母さんここ行ってみようとかお父さん、ここに載ってるところに行ってみたいっていう気持ちにさせる意味では、名古屋の二つ、三つ取り上

げられてるっていうことは、非常にいいかなと思っております。以上です。

(坪田教育長)

皆さんそれぞれにそうだなというご意見でございまして、だいたい2者、3者ずつ上がってますので、重なるところは一つは大日本がある。あとは、教育出版もありますし、光村もありますし学校図書もあって、東京書籍もあってという感じで、その辺はちょっと並んでるのかなという。それぞれ特徴の推しはありましたけど、という感じでございます。

さあ、どうしたらよろしいでしょうか。

鎌田委員、また、すいません、2回目の発言に戻しますけど、さきほどの安全が素晴らしいということで光村さんと学校図書がありましたけれども、今全般の話もありましたけれども、いかがですか。他も一応及第点ではございますでしょうか。

(鎌田委員)

はい。みんな及第点だと思います。学校の先生が使いやすいようにしていただければというふうには思うんですが、私の意見、先ほど二つとも通らなくて残念だったんですけど、とにかく今学力が一番といわれる秋田県の東成瀬小学校がありますね。あれはちゃんと振り返りをしっかりやってるんですよ。自分たちでも振り返らせてますし、学校でも振り返りやってるというようなことですね、学校の成績だけがっていうわけではないですけど、物事の考え方をやはり、しっかり小学校のときからもってもらう。それを中学校でも高校でもずっとそれをもち続けてもらうというためには、さっきの振り返りというのは本当に大事だというふうには思うんですけど、それをもちろん皆さんそれは現場の方も皆さんもわかっていて、でもやはり、別のものになったわけですが、この生活についてはやはり私としては、健康安全、元気というふうなところで、同じ話の繰り返しですけども、ただ、これじゃなければ駄目だということで決してありませんので、大勢に沿っていきたいというふうに思いますが。

(坪田教育長)

ありがとうございます。ちょっと鎌田委員から先ほどの、他の教科の流れでいきますと申し訳ない感じにもなっておりますので、ここは、ちょっと先ほどの2教科に比べてこれでってちょっとすぐにお諮りするの若干ちょっと私もためらう部分が、ないことはないというような状況でございます。鎌田委員のご指摘もごもっともなところがあると思いますし、それぞれ特徴を掴んでいただいた点でもちょっと他の教科書のご意見も出てるということがあります。現場の方は少しばらけていますけれども、やはり大日本図書が一番なんですけど、ただ、ご指摘ありましたように東京書籍、教育出版、そして他も近いものがあると、学校図書や光村もということになりますので、ものすごく抜き出てるという状況

では、

先ほどの理科に比べれば、ない状況にあります。ということで現場の支持も少し分かれているところが、実際はあるのかなと思いますので、なかなか決めづらいですね。

(西淵委員)

皆さんがおっしゃるとおりのところがありまして、ただ、視点として山本委員が言われた、確かに白黒でモノトーンで出してきた、秋の色とか冬、そういうのは確かに取り組みとして面白いし、さっき言った観察日記のところに五感を働かせるという感覚のところを大切にしているってことで、いいなって思います。

それから教育出版は先ほど何回も言いましたけども、やっぱりデジタルコンテンツ使っていくのに、何も今まで初めて一年生で入ってきたときになんていうのは、あれかなと思うのでそういうことも取り入れられてるということで、光村は確かににそういう有名な方を取り上げていくのはいいとは思いますが、どうしてもそこに色が付くっていうんですかね、限定的にはなろうかなということを感じるもんですから、どうでしょうかね。大日本が教出ところで絞り込んだらどうかなと思うんですけども、いかがでしょうか。どうかな。余計迷ったような発言ですかね。

(坪田教育長)

そうですね。鎌田委員からは光村図書か学校図書としては、ということでございましたよね、安全面とかで。そのどちらかも一応候補にしつつということにしたいと思っておりますが、これ2者に絞らないと投票はできないんですけど。

(事務局職員)

投票は7者すべてで可能です。

(坪田教育長)

東京書籍も言及があったような気もしないではないですが、4者も可能でしたら大日本、光村、教育出版、東京書籍で学校図書はちょっと鎌田委員だけでしたので外させていただいて光村ということが鎌田委員からありましたので光村をいれさせていただいて投票するという事でよろしゅうございましょうか。

(中谷委員)

過半数で決定ということですよ。

(坪田教育長)

そうですね。

(中谷委員)

だとすると候補が多いと何度か投票することになるかと思いますが、それでよろしいですか。

(坪田教育長)

はい、そういう形になると思います。

(中谷委員)

そうですか。それでよければそれで。

(坪田教育長)

それでは、ご異議なしということで投票を行いたいと思います。投票はオンラインで行いたいと思います。お手元のURLから教科を選んで、そして、投票していただきたいと思います。

【オンライン投票の準備】

(坪田教育長)

結果についてですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項の規定により、私を含め総数6票となりますので、過半数の4票以上得票した場合は、その発行者の教科書を。可否同数、つまり3票を獲得したものが二つあった場合には、私教育長の判断により採択する教科書を決定させていただきます。ということでございます。

(坪田教育長)

では皆さん投票をお願いします。送信までお願いします。

【投票】

(坪田教育長)

投票はお済でしょうか。

はい、それでは直ちに開票いたします。

【開票】

(坪田教育長)

光村図書出版が3票、大日本図書さんが2票、教育出版さんが1票です。

得票上位2つで、もう一度再度投票を行いたいと思いますので、光村図書か大日本図書
とうことでお願いをしたいと思います。

【オンライン投票の準備】

(坪田教育長)

投票をお願いします。

【投票】

(坪田教育長)

投票終わりましたでしょうか。

では、直ちに開票をいたします。

【開票】

(坪田教育長)

それでは光村図書出版が4票、大日本図書さんが2票ということでございます。

過半数を制しましたので、令和6年度使用小学校教科用図書生活につきましては、光村
図書を採択ということでよろしゅうございましょうか。

(各委員)

異議なし。

(坪田教育長)

ご異議なしと認めそのように取り扱わせていただきます。ありがとうございました。お
待たせいたしました。

それでは続いて、音楽についてお願いいたします。

(二階指導主事)

音楽科の教科用図書は、教育出版、教育芸術社の2者から発行されています。資料3-1
のファイル、資料3-2のファイルのそれぞれ、音楽のページをお開きください。各学校の

集計結果は、ご覧のようになっております。

私からは、調査専門委員会の調査研究の結果について、説明させていただきます。

観点1「「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実」についてです。教育出版では3年21ページのように、二次元コードから「まなびリンク」に接続し、リコーダーの指使い等、児童自身が必要に応じて確認することができるようになっています。4年58・59ページでは、児童がそれぞれの思いをもちながら役割の音楽を自由に演奏し、仲間と聴き合って進め方を決めながら、よりよい音楽づくりができるよう工夫されています。教育芸術社では、3年25ページのように、二次元コードから「ムーブの部屋」に接続し、範奏や映像等、児童自身が必要に応じて確認することができるようになっています。4年50・51ページでは、キャラクターの吹き出しによって、子どもたちがそれぞれの考えを出し合いながら、仲間と協働して音楽づくりができるよう工夫されています。

観点2「学習指導要領との関連」についてです。教育出版では、3年26・27ページのように、学習のねらいに到達するために、旋律の特徴を捉えて色々な歌い方を試す活動例が具体的に示されています。教育芸術社では、3年37ページのア、イのような図形楽譜を手掛かりに演奏の仕方を考える具体例が示されています。

観点3(1)「内容の選択」についてです。教育出版では、4年8ページのように、常時活動を通して、歌声やリズムのトレーニングができるようになっている、左上の「スキルアップ」が掲載されています。また、4年74・75ページには、外国語活動と関連した「ショートタイムラーニング」といった教材が掲載されています。教育芸術社では、4年9ページの下にあるように、段階を踏みながら、確実に技能を高められるよう、少しずつ繰り返して行う常時活動「そだてよう」が双葉マークで示されています。また、4年28・29ページのように、より進んだ学習活動が示されている「チャレンジ」のコーナーが掲載されています。

観点5「指導上の便宜」についてです。

教育出版では、6年16ページの二次元コードを読み込むと、ベートーヴェン交響曲第5番「運命」の楽譜が表示され、曲を再生すると、どの部分を演奏しているかが分かるよう工夫されています。また、17ページの二次元コードからは、オーケストラの楽譜について詳しく学ぶことができるよう工夫されています。教育芸術社では、6年17ページの二次元コードから、ホルスト「木星」の主な4つの旋律、つまり16ページのアの部分の4つの旋律と、17ページのイの部分の旋律を聴くことができます。それにより、曲全体の旋律の移り変わりやそれぞれ旋律の特徴を知ることができるよう工夫されています。

次に、特に調査を要する事項についての報告をさせていただきます。

事項1「伝え合う活動」についてです。教育出版では、3年60ページのように、「音の強さを変えることができるかな」「打つところやばちによって音色が変わるね」などイラストの吹き出しにより、児童が表現に対する思いを明確にすることができ、主体的・協働

的な学びを引き出すよう配慮されています。教育芸術社では、3年64、65ページのように、「どの音からはじめようかな」「最後は高い音で終わりたいな」など、伝え合うための視点をキャラクターの吹き出しによって例示しており、どのような対話をしていくか明確にされています。

事項4「我が国や郷土の音楽の扱い」についてです。教育出版社では、4年40～45ページのように、題材「日本と世界の音楽」において「ソーラン節」を中心教材とし、おはやしづくりや合いの手を入れるなどの体験活動を通して、より深く学習できるよう工夫されています。教育芸術社では、4年58～63ページのように、題材「日本の音楽でつながろう」において「さくら さくら」を中心教材とし、鑑賞、箏の演奏、音楽づくりを一連の学習活動とすることで、日本の音楽に関して児童が興味関心をもち、理解を深められるよう工夫されています。

なお、音楽科の教科書に対しまして、「市民の声」として、6通のご意見をいただきましたことをお伝えさせていただきます。以上です。

(坪田教育長)

説明が終わりましたので、令和6年度使用小学校用教科用図書音楽について審議を開始したいと思います。ご質問、ご意見をお願いいたします。

(西淵委員)

もうこれは圧倒的に学校の現場の先生が使いやすいと思っている教育出版でいいんじゃないかなと思います。音楽的にそう詳しいわけじゃないんですけども、共通教材とかです、そういうものの取り扱いも適切かと思いました。以上です。

(坪田教育長)

他に異なるご意見ございますか。

(坪田教育長)

山本委員いかがでしょうか。目が合ったのですみません。

(山本委員)

音楽は専門性もあって、5・6年になると特に音楽の専科の先生が教えられることが多いと思うので、その先生方が、これだけの差で出てるということは教育出版でよろしいのではないかと私も思います。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

(中谷委員)

両方拝見しまして両方やっぱりよくできていて、教育芸術社さんは音楽をどういうふう
に広げていくかというか、そういうようなところにも意識されていて、ユニークなという
か内容の良い作りだなというふうに思いました。一方で教育出版さんは、やはりこの造本
や構成もやはり工夫されていて、課題研究というか、そのあたり先ほどソーラン節ってい
う話がありましたけど、そういう和楽器などにも注目されていてそういった教材としての
質もより高いものであるというふうに思ひまして、それぞれいいですけど、やはり現場
の声、校長調査ですね、特に大きな違いもありますので3倍ほどの違いがありますので、
総合的に判断して教育出版さんを推薦したいと思います。

(坪田教育長)

鎌田委員いかがでしょうか。

(鎌田委員)

教育芸術社の方は内容解説資料というのがついてるんですね。質問と言いますか、これ
は児童にも配られるものなののでしょうか。

(二階指導主事)

内容資料については、配られるものではなく、子どもたちに配られるのは教科書のみと
いうふうになっております。

(鎌田委員)

先生用ということですね。

(二階指導主事)

教科書採択に向けての指導者の方たちの参考になるものとなっております。

(鎌田委員)

こういうのが付いていたのが初めてなもんですから、よく理解してほしいという、会社
側の熱意というのが伝わってくるというふう思いました。

基本的にはその学校の先生使いやすい、これこそですね、どちらでもいいといいますが、
両方とも基準を満たしている以上使いやすい方がいいという判断でいいとは思いますが、こ
ども、熱意が伝わってくるなど、あるいは外国の音楽がより芸術社の方が多くですね、こ

れから国際化していく中にあっては、そういう観点もあってもいいんだろうと思いますが、私としては教育芸術社を推したいですが、多分これは5対1になるんだろうなと思ってはいます。

(坪田教育長)

ありがとうございます。
栗生委員ございますか。

(栗生委員)

私も教育芸術社を推薦させていただきたいと思ってましてそれはですね、中身の充実度ですとかあと動画の作り込みもかなり深く学べるようになっている点と、あと唯一音楽やスポーツが共同で一緒に実技をできるっていう貴重な教科だと思っています。その中で共同授業に特化した内容になっているという点で教育芸術社が非常にいいなと思います。

ただ一方で、先生の立場になったときに使いやすさという観点でいうと、その点でいうとやはり教育出版ですし、動画の中身を見たときに、教育芸術社さんがですねちょっと、作りこみが深すぎてお子さんが逆に音楽に興味もたなくなってしまうんじゃないかっていうリスクも考えるとですね、教育芸術社を薦めたいんですけども、総合的に判断すると、教育出版さんかなということで、すいません、ちょっとややこしい発言になりましたが結論はそういう経緯で。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

今回、2者ということでそれぞれ良い特徴もお示しがありましたけれども、全体のご意見をまとめますと、ということでお諮りしたいと思います。

それでは、令和6年度使用小学校用教科用図書音楽については教育出版を採択してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(坪田教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。
続いて、図工についてお願いいたします。

(大曾根指導主事)

図画工作科の教科書は、開隆堂、日本文教出版の2者から発行されています。

資料3-1のファイル、資料3-2のファイルのそれぞれ、図画工作科のページをお開きください。

各学校の集計結果は、ご覧のようになっております。私からは、調査専門委員会の調査結果について、説明させていただきます。

まず、調査研究の6つの観点です。

観点1「「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実」についてです。日本文教出版の5・6年下の42～45ページにあるように、一人一人の個性や生活環境の違いを尊重し、児童の発想の幅を狭めず、自分らしく表現ができるように、学校の環境に合わせた多くの選択肢が示されております。また、友達と話し合ったり、協力したりする様子が多く掲載されており、活動を通して、自然に友達との関わりが生まれ、協働的な学びが実現できるよう示されております。

観点2「学習指導要領との関連」についてです。両者とも学習指導要領で示された資質・能力について分かりやすく示され、各題材の中で確認できるよう工夫されております。開隆堂の3・4年上の14・15ページにあるように、育てたい三つの資質・能力に沿った「学習のめあて」「ふりかえり」が明示され、児童の「やってみたい」「楽しそう」という思いを引き出せるよう編集されております。日本文教出版は、5・6年下の14・15ページにあるように、資質・能力の三つの柱に基づく「学習のめあて」「ふりかえり」を全題材に設定するとともに、よりよい発想や構想、表現に導くための「ヒント」を掲載しております。

観点3(2)「内容の程度」についてです。両者とも具体的な活動を考慮し、題材を工夫しています。日本文教出版の3・4年下54ページにあるように、多様な発想の作品が数多く紹介されるとともに、巻末の「材料と用具のひきだし」で材料や用具、表現方法が紹介され、児童の発想に対応できるよう配慮されております。

観点5「指導上の便宜」です。開隆堂5・6年下4・5ページにあるように、学年全体の活動の内容と目標が、視覚的に一目で分かるように構成されており、学習活動の見通しが立てやすいように工夫されております。

日本文教出版では、5・6年下3・4ページにあるように、「教科書の使い方」「学習の進め方」が掲載され、児童が見通しをもち主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されています。

次に、特に調査を要する事項について報告させていただきます。調査専門委員会報告書の2ページ目をお開きください。

事項1の「身の回りの形や色などと豊かにかかわることができる内容になっているか」については、開隆堂は、1・2年下40・41ページにあるように、「しぜんからのおくりもの」など、落ち葉や木の実など自然や飾りつける場などを取り上げることで、児童が形や色と豊かに関わるができる内容となっております。

事項2の「創造的につくったり表したりできる内容になっているか」については、日本文教出版は、1・2年上20・21ページにあるように、適切な用具や材料が扱われる内容となっており、同じ題材の中で、活動場所や材料などが複数紹介されております。

事項3の「自分の見方や感じ方を深める鑑賞活動ができる内容になっているか」については、日本文教出版は5・6年上44・45ページにあるように、題材と右下にあります「教科書美術館ミニ」で作家などの作品の資料が紹介され、表現と鑑賞が一体的に学習できるようになっております。

事項4の「材料、用具、活動場所などについて安全かつ活動しやすいものとなるような解説がされているか」については、開隆堂は5・6年下40ページ、日本文教出版は5・6年下58～64ページにあるように、材料や用具の取り扱いなどについて、写真やイラストで分かりやすく解説されております。

なお、図画工作科の教科書に対しましては、「市民の声」として5通のご意見をいただきました。以上です。

(坪田教育長)

説明が終わりましたので、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

(坪田教育長)

いかがでしょうか。

では栗生委員からお願いします。

(栗生委員)

どちらも非常に見開きビジュアルライズされていて見やすいですけれども、先生のご投票と専門委員のご投票も踏まえて、日本文教さんを推奨します。理由として糸を使ったワークショップなど書かれていたんですけれども、これ実は私も子どもと体験したことがあるんですが、非常に子どもにも人気な内容になってまして実はこれ最近ですと企業研修なんかでもこの糸を使ったクリエイティビティ育むような、空間を使った自由な発想を今一度大人になっても育むみたいなところの題材としても使われていて非常にいいなということで日本文教さんでご提案します。以上です。

(西淵委員)

異議なし。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

日本文教さんじゃない、対抗する意見などございますでしょうか。

鎌田委員いかがでしょうか。

(鎌田委員)

私は、開隆堂の方がいいんじゃないかというふうに思ってるんですが、これはどちらも、両方ともいいんですけれども、開隆堂さんの学びの資料というのはいいなというふうには思いました。

ただこれをもって他を否定するものでもないということでありまして、これはどちらもいいんだというふうに、思います。

(中谷委員)

図工ということで非常に今粟生委員言われましたけども、カラフルで見やすい形で両方とも造作にはあまり変わりはないという感じで、QRコードから入った動画とかですね、コンテンツも非常に両者とも充実していてこれは他の教科にもますようなものかなあというふうに思いますんで、ただ、やっぱり決めなければいけないということになりますと、やっぱり内容の充実・バランスのよさですね、各学齢に応じた教材内容の配置、子どもの目を引くようなレイアウトというのをさらに、一段質が高いという意味で日本文教さんということで同じなんですけど、そういう理由付けを自分としては思いました。

(坪田教育長)

山本委員いかがでしょう。

(山本委員)

異議なしでございます。

(坪田教育長)

それではですね、他の教科と比べると教科書の使い方も多分授業で、図工っていうものは1ページ1ページね、学んで習得してというものではなくて、作品を中心としてながら子どもたち発想をいかしながらっていうものではあると思いますが、現場の使いやすさや、委員の皆様の声からいたしまして、結論を出したいと思います。

それでは、令和6年度使用小学校用教科用図書図工につきましては、日本文教を採択してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(坪田教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

続いて、本日の最後でございます保健についてお願いいたします。

(渡邊指導主事)

保健の教科用図書は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、文教社、光文書院、学研の6者から発行されています。資料3-1、資料3-2のファイルのそれぞれ保健のページをお開きください。各学校の集計結果はご覧のようになっております。私からは、調査専門委員会の調査研究の結果について、教科用図書をお示ししながら説明させていただきます。

まず、調査研究の6つの観点についてです。

観点1「「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実」においては東京書籍では、5・6年24・25ページのように、身近に起こりうる事故やけがから課題を見付け、その解決のために、調べたり、話し合ったりできるように工夫されています。大日本図書では、5・6年10・11ページのように、ページ左側に、見つける、考える、やってみるなど、1時間の学習の流れが示され、主体的に学習できるようになっています。光文書院では、5・6年23ページのように、記述するスペースが充実していて、自分の考えを話し合う活動がしやすくなっています。

観点2「学習指導要領との関連」においては、東京書籍では、3・4年13ページのように、単元はじめの写真やイラストから自分の課題に気付き、その解決に向けて見通しをもって学習できるようになっています。光文書院では、3・4年12・13ページのように、1日の生活から課題を見付け、解決するまでの流れが分かりやすくまとめてあり、学んだことの活かし方を記述することで学びが深まるようになっています。

観点3(1)「内容の選択」においては、東京書籍では、3・4年17ページのように、日常生活を振り返り、課題を自分事として捉えやすいチェック項目が選ばれています。大修館書店では、5・6年16・17ページのように、イメージしやすい話題から課題を発見することに主眼を置き、呼吸法などの実践を通して、知識と技能がつながるような内容が選ばれています。学研では、3・4年20・21ページのように、今後の学習に関連する写真や学習課題を示し、主体的に取り組むことができるような内容が選ばれています。

観点3(2)「内容の程度」においては、大日本図書では、3・4年9ページのように、児童が興味をもちそうなゲームなどを掲載し、児童の主体性を引き出すようになっています。大修館書店では、5・6年7ページのように、著名人とキャラクターの対話が掲載され、その単元の学習の概要をつかむことができるようになっています。文教社では、5・6年28・29ページのように、ページ下の青色のマークでコメントが示されており、二次元コードを読み込むと、補充・発展的な内容が見られ、学習内容をより深く理解できるようになって

います。

観点3 (3)「内容の構成」においては、光文書院では、5・6年21ページのように、児童が学習課題を自分事として捉えることができるように4コマ漫画で導入場面が展開され、主体的に学習を進めることができる構成となっています。学研では、5・6年8ページのように、学習の流れが分かりやすく、児童が個別に考えたり、対話的に学んだりして、見通しをもって学習を進めることができる構成となっています。

観点4「学習の仕方への支援」においては、東京書籍では、5・6年45ページの右上にあるように、一つの単元が4つのステップの流れに統一されており、主体的に学習を進め、課題を解決できるようになっています。大日本図書では、5・6年30・31ページのように、つかもう、考えよう、活かそうというタイトルで学習活動を明記し、また36ページにある資料や読み物と関連させながら、効果的に学習ができるようになっています。

観点5「指導上の便宜」においては、東京書籍では、3・4年34・35ページのように、二次元コードを読み込むと、学習内容を補う動画やアニメーションなどが見られ、児童の学びを深め、広げることができるようになっています。大修館書店では、3・4年21ページの二次元コードで、実験動画やクイズを見ることができ、学習内容の理解が深まるようになっています。

次に、特に調査を要する事項についての報告をさせていただきます。調査専門委員会報告書の3枚目をご覧ください。

事項1「健康的な生活習慣の形成に結び付くように工夫されているか」においては、大修館書店では、5・6年23ページからの単元のように、まず写真で学習への興味付けをし、次のページから、課題解決のための学習活動が見出しとして明記されています。章の最後44ページ、「学習を振り返ってみよう」で、知識の定着を図り、学習したことを将来の生活に生かすことができるようになっています。学研では、3・4年20ページからの単元のように、課題解決のための学習活動が各ページの上に明記されています。学習内容を自分の生活につなげやすいような流れになっています。

事項2「他教科や運動領域との関連が図られているか」においては、東京書籍では、5・6年20ページのように、中央下の「つなげよう」で、他学年の保健や他教科とのつながりが明記されています。文教社では、3・4年30・31ページのように、ページ下のコメントを通して、他学年の保健や他教科の学習内容との関連も図っています。

事項3「心の健康において課題を見付け、解決を目指す活動が行えるようになっているか」においては、東京書籍では、5・6年14ページからの単元のように、学習したことを自分に置き換えて考えたり、16・17ページのように実際に試したりして、習得した知識をいかす活動を掲載しています。大日本図書では、5・6年16・17ページ「もっと知りたい!」のように、前のページまでで学習したことを深掘りした内容や、次の18ページのように、実際に試す活動を掲載して、学習内容を多面的に理解し、活用につなげることができるよ

うにしています。

事項4「今日的な健康問題について理解が深まるように工夫されているか」においては、大日本図書では、5・6年48・49ページのように、感染症の予防についての発展的な内容が、どこのページと関連しているかが分かるように明記されています。光文書院では、5・6年60・61ページのように、「薬物乱用」「インターネットと依存症」など、児童を取り巻くさまざまな社会状況や生活習慣の変化に応じた課題を重視し、積極的に取り上げています。

なお、保健の教科用図書につきましては、「市民の声」としてご意見を15通いただいております。以上です。

(坪田教育長)

説明が終わりましたので、保健の採択に関する審議に入ります。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(山本委員)

大日本図書さんの見つける、考えてやってみる、まとめる、広げる、深めるっていうところが、ほぼ全ページ出ているというのはすごく、わかりやすいかなというふうには思いました。そして、また最後振り返ろうというところでまとめるのはすごく、良いように思います。

東京書籍さんはやっぱり、写真がなんか、興味をもてるような写真が多いのかなあと思いました。それから大日本さんと同じようにステップ、調べる、解決するというような順序があるっていうのは、わかりやすいと思います。どちらもいいかなっていうふうに思いました。以上です。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

他に保健に造詣が深い方いらっしゃいますか。

中谷委員いかがでしょうか。

(中谷委員)

内容の充実したものになっていると思うんですがちょっと、今ご報告のところで教科の先生に、お伺いしたいんですが、こういう何て言うんでしょう。保健の教科書というのが非常にこのノートのといいますか、副教本的な意味もあるというふうに思うんですがその辺の内容のバランスというかですね、使いやすさっていうのは例えば大日本さんとか、東京書籍さんなんか書き込む部分がかなりあると思うんですがそのあたりについて評価専門的な観点からどういうふうな解釈というか、捉えがあるかってのをちょっと教えていただ

いていいでしょうか。実際に使うときにどのように使われるかというところですね。

(渡邊指導主事)

自分の考えをこのスペースに書き込むことで学んだことをアウトプットする。そうすることで、次の対話的な学びに進めていけるという、そんな仕立てになっているというふうにとらえております。以上です。

(中谷委員)

ありがとうございます。かなり資料的というか書き込むことでっていうのはいわゆる教科書の中でも保健という教科の特徴なのかなあというところで、自分の専門としては心の発達、体の発達ってあたりがやっぱり内容が充実してきてるなというふうに思うんですけど、そういうふうに書き込むことを前提にした場合に大日本さんであるとか東京書籍さんなどは、非常に充実してますし、教科専門の部会の方で、東京書籍さんの内容の程度のところではデジタルコンテンツが充実しておりということでこの辺りも、やはりこの会社さんの特徴であろうとこの新しい保健の特徴であろうというふうに思いまして、なぜか〇がついてないのであれなんですけど、そういう内容的、質的判断と学校の校長先生の調査でも約3倍ぐらい東京書籍さんが票が集中してるっていうことから考えて、1番私は東京書籍で、2番が大日本図書というふうに考えております。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

鎌田委員いかがでしょうか。この保健という分野につきましては。

(鎌田委員)

ほとんどの教科書が及第点ということだと思ひまして、もちろんみんないいんですけど、その中で、私としては一番、光文書院を選びました。かなりのところがですね、まとめ振り返りといったことを書いてくれてまして、これ自体、私は今回の教科書の選定におきましては、これを非常に重要視してやってるわけですけども、それを癖にするとですね、社会に出てからも、今日の会議において何を議論して何を勉強したんだ、今日1日どういうこと学んだのかなというようなことが必ずプラスになっていくと思うんですよ。そういうことを小学校時からやるといいなと。

その保健についても、いくつかの教科書でそういうふうを書いてありまして、特に光文書院の場合には、SDGsについても触れてましてですね、これSDGsは保健だけじゃないわけですけども、そうやって書いてくれるのは非常にうれしいなというふうに思いました。以上です。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

栗生委員いかがでしょうか。

(栗生委員)

どの教科書も各者、非常に大切な内容を親切に書かれているなと思うんですけども、私も、東京書籍さん、大日本さんをちょっと比較しながら見させていただいたんですけども、東書さんの方がですね、デジタルのコンテンツの充実度というところもしっかりされてますし、教員の皆様の票というのもちょっと圧倒的格差というのもありましたので、東京書籍さんをご提案します。

(坪田教育長)

ありがとうございます。

ちょっと最初口火を切っていただいて、また意見を聞いて、山本委員、補足とかご意見がございましたらお願いします。

(山本委員)

そうですね各者本当に、子どもたちのことを考えて、作ってらっしゃるのはわかるんですけど、教員の方が圧倒的に東京書籍さんということで大日本さんとかも私もいいと思うんですけど東京書籍さんで良いのではと思います。

(坪田教育長)

ご意見ありがとうございます。

西淵委員いかがでしょう。

(西淵委員)

私はやっぱり、東京書籍が良いかなと思っていました。肺癌のところで、やっぱり今、私どもの大学でも健康教育をやっているんですけど、肺がんって写真を見ると、本当にやめようという気になるんです。そういう意味では東京書籍や光文さんはそういうのを挙げていただいているし、SDGs 関係も、これは大日本さんも挙げておられますし、各者挙げておられると思いますので、使いやすさという観点から東京書籍かなということで賛成をいたします。以上です。

(坪田教育長)

そういうご意見でございましたけれども、鎌田委員が一貫して重要視されている子どもの安全とかですね、そういう部分、まさに保健が一番メインの教科でありますけど、各者もちっと差はあれ、子どもの安全については非常にいろんな観点から重要視されているかなという気はしますし、多分今の世の中の流れ全体を受けて、結構反映されているのはこの保健という教科かもしれないなというですね、さっきSDGsもありましたし、ウェルビーイングも含めて反映されているし。性のあり方とかですね、そういうことも各者アップデートされてるかなという印象を受けたりもしますが、それでは、お諮りしたいと思います。令和6年度使用小学校用教科用図書保健については、東京書籍を採択してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(坪田教育長)

ご異議なしと認めそのように取り扱わせていただきます。

これにて、日程第1「令和6年度使用教科用図書の採択及び採択審議について」を終了いたします。

残りの種目については、8月2日に予定しております定例会にて採択を行いたいと思います。

また、傍聴の方も含め、ここにおられるみなさまに再度お願いいたします。令和6年度使用教科用図書の採択に関しましては、県の指導により、採択結果は8月31日まで非公開となっております。また、採択などに関わる会議録、資料等につきましても、同様の取り扱いとなりますので、その旨ご理解の上、本日知り得た内容につきましても、ご配慮いただきますよう、お願いいたします。

これで、本日予定の案件はすべて終了いたしました。

教育委員会臨時会を終了いたします。

午後5時4分終了